

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		総務管理				整理番号	713		枝番号										
担当部課名		環境清掃部 清掃管理課		コード	230205		連絡先電話番号	3723		昨年度整理番号	752								
係名				管理係				上位施策名		No									
予算事業名				リサイクル・清掃管理		コード	67500		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20								
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律												
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例												
							(3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)														
清掃事業担当各課との連絡調整事務。 清掃関係情報の収集、提供事務。 ごみの搬入、搬出に関するデータの集積を行い、出先事業所と本庁においてごみ量を把握する。清掃車運転手休憩室の維持管理を行う。				清掃総合情報システムの運用により正確なデータを共有し、事務処理の効率化を実現させる。清掃に関する情報が各課に提供されることにより業務が円滑に行われる。他自治体や他機関との情報交換を行うことにより新しい施策の構築や計画策定に役立たせる。															
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標															
(1) 清掃事業従事職員数				(1)															
(2)				(2)															
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値		目標値に対する15年度の達成率%						
							計画		実績		計画			年度					
指標		活動指標(1)		人		377		373		357		353		335					
		活動指標(2)																	
		成果指標(1)																	
		成果指標(2)																	
総事業費・コスト把握		事業費		千円		10,978		10,978		10,510		10,327		10,114		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
		(内)委託費		千円		0		0		0		0		0					
		職員数(正規 非常勤)		人		1.47 0.00		2.10 0.00		3.36 0.00		2.71 0.00		2.71 0.00					
		人件費		職員分(超勤分含む)		千円		13,221		18,887		30,220		24,374				24,374	
				非常勤職員分		千円		0		0		0		0				0	
		総事業費 + +		千円		24,199		29,865		40,730		34,701		34,488					
		単位あたりコスト ÷		円		64,188		80,067		114,090		98,303		102,949					
		財源		受益者負担分		千円													
				国・都等からの支出金		千円													
				特定財源計 +		千円		0		0		0		0					
差引:一般財源 -				千円		24,199		29,865		40,730		34,701		34,488					
受益者負担比率 ÷		%		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%		98.9		活動指標(2)の15年度達成率%				15年度予算執行率%		98.3							
		文書フォルダーの再利用等、事務用品費の節減に努めた。																	
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		なし																	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度清掃事業区移管に伴う事業開始
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	なし
	今後の予測	16年4月に西・東清掃事務所及び清掃事業所の統合が行われ、杉並清掃事務所となった。平成18年度に中間処理を含めた清掃事業の完全移管が予定されている。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:清掃総合情報システムによりごみ量や車両稼働状況を把握し、計画的な業務執行とデータ把握に効果を上げている。清掃工場敷地内に運転手休憩室の維持管理は、運転手の健康を確保し安全運転を行うために必要である。清掃事業を遂行する上で必要な情報提供事務を行うための電子複写機の契約や物品購入などを行っており、清掃事業にとって不可欠な事務である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由:行政が行う義務的業務のため。
	協働等は実現しているか	理由または具体的内容:
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容:17年度から清掃総合情報システムの新システムの運用が予定されているが、通信費の増加が見込まれるため。	
成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 特定の個人、団体に対するサービスではないため。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 主だった経費である清掃総合情報システム維持管理は、23区全体で運用しているシステムであり、義務的経費であるため削減の余地がない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄				
	(1)改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成17年8月に清掃総合情報システムが新システムに変更するため、機器の入替え、設置工事等を行う予定である。						
17年度方針	(2)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 なし						
	(1)17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
(2)理由 義務的業務のため減要素がない。また、各種契約について増減の可能性がない。							

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全対策・安全管理				整理番号	717		枝番号						
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230211	連絡先電話番号	3728		昨年度整理番号	756					
係名		清掃職員係				上位施策名			No						
予算事業名		西清掃事務所維持管理、東清掃事務所維持管理、清掃事業所維持管理		コード	69100,69300,69500	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			20						
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 労働安全衛生法										
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区安全衛生委員会設置規程										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		(3) 安全作業手順												
	活動指標名(式)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)												
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		交通安全に対する管理体制を強化する。自動車運転職員の運転技術の向上と安全運転意識を高める。交通事故件数を減少させる。公務災害の発生を防止する。													
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標													
(1) 交通安全講習会受講者及び自動車運転職員研修受講者数		(1) 交通事故等発生件数													
(2) 安全衛生委員会開催回数		(2) 公務災害発生件数													
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%			
							計画	実績	計画	17年度					
指標	活動指標(1)		人	502		444		475		446		474	470	94.9	
	活動指標(2)		回	23		29		29		29		21	21	138.1	
	成果指標(1)		件	6		15		0		14		0	0		
	成果指標(2)		件	17		18		0		20		0	0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,534		11,327		14,055		10,685		14,995	特記事項 <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 交通事故発生件数(成果指標(1))は、清掃協議会に報告した件数で、平成14年度から事故定義の変更により自損事故も事故件数に含まれるようになったため件数が増加した。 平成16年度の組織統合により、事業所安全衛生委員会が無くなり、3所から2所になった結果、開催回数が減少する。		
	(内)委託費		千円	0		74		107		36		49			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.40	0.00	1.40	0.00	1.40	0.00	1.40	0.00	1.40			0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	12,592		12,592		12,592		12,592				12,592
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0				0
	総事業費 + +		千円	20,126		23,919		26,647		23,277		27,587			
	単位あたりコスト ÷		円	40,092		53,872		56,099		52,191		58,200			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0				0
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0				0
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0				0
差引:一般財源 -		千円	20,126		23,919		26,647		23,277		27,587				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%		93.9		活動指標(2)の15年度達成率%		100.0		15年度予算執行率%		76.0			
		運転技術研修について、経理課が実施した研修に参加したため執行残になった。また、事故処理にかかる経費(弔慰金、見舞金等)の支出が無かった。													
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		運転技術研修については、経理課が実施した研修に参加して経費の削減を試みたが、これは乗用車を使っての実技研修で、清掃車との違いが大きく、専門研修に参加した方が効果があるという意見があり、平成16年度から専用車両(21車)を使用した研修に参加するようにした。また、5年間で清掃車を運転する職員が全員研修に参加できるように、1回の参加人数を2人から7人に増やした。													

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度の清掃事業の移管により東京都の事業から区の事業になった。ごみの減量等により移管時に405人(うち、自動車運転手47名)いた清掃職員(嘱託員を含む)が、平成16年度には318人(うち、自動車運転手41人)に減少した。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	直営車か雇上車かは特定できないが、運転マナーに対する苦情がある。
	今後の予測	道路事情や収集形態の変化など、ごみ収集をとりまく環境の変化の中で、引き続き交通安全対策や安全管理は重要である。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 毎日の収集作業や自動車運転においても安全意識を忘れないように、適時に交通安全講習会や安全衛生委員会を開催している。また、自動車運転手を対象に危険な状況を想定した運転技術の研修に参加し、運転技術の向上を図り、交通事故減少に取り組んでいる。こうした取り組みが、収集サービスの向上につながる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は行政が自ら実施(理由)	理由: 職員の労働安全・交通事故対策は、雇用者である杉並区が自ら行う事業である。
	協働等は実現しているか	理由または具体的内容:
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 安全対策や交通安全に対する職員の意識の向上を図ることにより、経費を最小限にして効果を上げることが可能である。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 職員の職務遂行上必要な事業なので、雇用者の責任で行うものであり、受益者負担に適さない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容: 交通安全講習会や自動車運転職員の実技研修は、実施機関で費用が決められているので、コストを下げるのは困難であるが、安全管理が徹底することにより、事故が発生した際にかかる費用を支出する必要がない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 保護具の見直しにより、作業の適性に合ったより安全な保護具の選定を行い、作業事故を無くしていく。 研修計画の見直しを行い、多くの職員が受講できる体制を作る。 安全作業手順の見直しを行う。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ローテーション勤務の職場であることから、同時期に講習会や研修等に全員を参加させることが難しい。 長期的な計画になっても全員を参加させる体制を作る。		
	(1) 17年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 職員の保護具を一斉に変更すると予算上の制約が出るため、試行を行いながら段階的に変更していく。

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ごみの収集・運搬				整理番号	720		枝番号				
担当部課名		環境清掃部 清掃管理課		コード	230208		連絡先電話番号	3725		昨年度整理番号	761		
係名				清掃計画係				上位施策名		No			
予算事業名				ごみ収集作業等、ごみ収集管理		コード	68300 68100		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20		
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		12年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例						
	区内一般家庭及び事業者(排出日量50kg未満)				(3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)								
分別して排出された可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを集積所などから収集し、杉並清掃工場等へ搬入する。				廃棄物の発生を抑制し、分別の徹底やりサイクルの促進によりごみを減量し、適正に収集することにより、良好な生活環境を保持する。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) ごみ量(可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ)				(1) ごみ量減量率									
(2) 作業日数				(2) 1作業日あたりの収集量									
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%				
					計画	実績		24年度					
指標	活動指標(1)		t	135,497	133,269	147,982	132,587	144,518	78,512	168.9			
	活動指標(2)		日	310	311	312	312	312					
	成果指標(1)		%	98	98	111	99	109					
	成果指標(2)		t	437.09	428.52	474.30	424.96	463.20					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	952,480	991,408	1,043,256	992,296	1,127,574	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 活動指標(1)は、資源を除く区収集ごみ量。 成果指標(1)は、前年度実績量との比較。15年度事業費(計画)は、補正後の金額を計上した。 受益者負担分は、有料ごみ処理券等。				
	(内)委託費		千円	43,298	30,408	93,063	82,864	175,329					
	職員数(正規 非常勤)		人	208.4 39.00	197.1 35.00	194.7 37.00	194.7 37.00	188.1 7.00					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,874,529	1,772,358	1,751,132	1,751,132	1,691,681					
		非常勤職員分	千円	107,601	96,565	102,083	102,083	19,313					
	総事業費 + +		千円	2,934,610	2,860,331	2,896,471	2,845,511	2,838,568					
	単位あたりコスト ÷		円	21,658	21,463	19,573	21,461	19,642					
	財源	受益者負担分		千円	438,489	396,051	433,018	382,903			421,870		
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	438,489	396,051	433,018	382,903			421,870		
差引: 一般財源 -		千円	2,496,121	2,464,280	2,463,453	2,462,608	2,416,698						
受益者負担比率 ÷		%	14.9	13.8	14.9	13.5	14.9						
15年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	89.6		活動指標(2)の15年度達成率%	100.0		15年度予算執行率%	95.1				
		15年度ごみ量は、計画量に比し収集実績量を10.4%減量した。											
前年度の改革案の取り組み状況(16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		不燃ごみの減量化に向け、13年度から廃プラスチック分別収集モデル地区調査事業を継続的に実施している。なお、15年度はリサイクル方法をケミカルリサイクルに変更して実施し、材料リサイクルとの比較を試みた。16年度もケミカルリサイクルによるモデル事業を、通年で実施している。 カラスなどによるごみの散乱防止とまちの美観保持のため、15年10月から阿佐ヶ谷駅周辺及び高円寺駅北口周辺を容器出しモデル地区に指定し、夜間収集等の施策との比較検討を行っている。また、新たな方策として可燃ごみの午前中収集について検討を行い、実施に向け準備を進めている。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	ごみ量は、区民のごみ減量やリサイクル意識の向上及び経済状況の影響を受け、減少傾向にある。ごみ種別では、可燃ごみは2年度から連続して減少しているが、不燃ごみは14年度と15年度の実績量を比較すると微増しており、2万5千～6千トン台で推移している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	カラスによる集積所周辺のごみの散乱、ごみ集積所の管理問題や収集時間に対する要望・苦情が多い。また、東京都から区へ清掃事業が移管され区民により身近になったため、迅速かつきめ細かなサービスを望む意見が寄せられている。
	今後の予測	近隣関係の希薄さから戸別収集を望む意見が多くなっているが、これはごみ集積所利用者のマナーが低下していることが一因となっている。その反面、集積所の管理や清掃に熱心な区民もいるため、区民間の不公平感がますます高まっている。なお、区民のごみ減量やリサイクルに対する意識は、ますます高まるものと思われる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 清掃事業は、区民の生活に密着した行政サービスであり、欠かすことのできない事業であるため。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: ごみ及び資源の運搬については、現在、収集・中継車両(運転手を含む)の約8割を民間会社等から借上げている。また、資源の回収作業については、古紙の約1割、びん・缶の約7割をリサイクル事業協働組合に業務委託している。さらに、缶の回収については残りの3割分も、回収作業員付きの車両を民間会社から借上げている。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 清掃事業の移管後、しばらくの間は都の事業形態・方法等を踏襲し実施している。しかし、区への完全移管が達成されると、区が独自に作業の効率化を推進する余地が拡大する。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	廃棄物処理手数量は、6年度に改定が行われて以来変更がなされていない。したがって、廃棄物処理原価の算定を適正に行い、手数料の見直しを行う必要がある。また、ごみ減量及び負担の公平性の観点から、家庭ごみ有料化の導入についても検討を要する。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容: ごみの収集・運搬については委託等を推進することにより、コスト削減の余地はある。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用を徹底して推進することによりごみ量を削減し、ごみ処理に係るコストを削減することができる。そのため、区では「ごみ半減プラン」の策定に向け準備を進めている。このプランを実行することにより、24年度までに家庭ごみの40%削減をめざす。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ごみの分別を徹底し資源化を促進するためには、資源化施設の確保が最大の課題である。民間施設や他区の施設を利用するなどの方策を探りつつ、資源化施設の確保を図る。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
(2) 理由 廃プラスチックの分別回収により不燃ごみの減量が予想されるが、17年度においては一部地区での実施であり、また区民の協力がどの程度得られるか不明なため、現段階ではコストの算定は困難である。また、桃井地区に大規模建築物の建設が予定されており、総合的に勘案すると予算の大幅な変更は想定できない。			

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		一部事務組合等負担金				整理番号	721		枝番号		
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230205	連絡先電話番号	3723		昨年度整理番号	762	
係名 管理係					上位施策名			No			
予算事業名 一部事務組合等負担金					コード			ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 東京二十三区清掃一部事務組合 東京二十三区清掃協議会				(2) 東京二十三区清掃一部事務組合格約 東京二十三区清掃協議会規約						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区が行っていないごみの中間処理などを23区で共同処理するほか、清掃車両雇上会社の配車調整、23区ごみ推奨袋の認定事務、一般廃棄物処理業の許可に関する事務などを行うための経費を各区が人口に応じて負担する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区が負担金を支出することにより、東京二十三区清掃一部事務組合が可燃、不燃、粗大ごみの中間処理及びし尿の下水道投入について共同処理を行う。また、東京二十三区清掃協議会は、各区及び東京二十三区清掃一部事務組合等との連絡調整を行う。						
	活動指標名(式) (1) 4月1日現在人口(住民登録者数及び外国人登録人口) (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 杉並区のごみ処理量(資源物を除く) (2) 杉並区のし尿処理量						
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		24年度			
指標	活動指標(1)		人	515,945	519,561	519,561	522,155	522,155	501,404	104.1	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		t	151,872	153,390	152,869	151,118	152,613	99,959	151.2	
	成果指標(2)		kl	257	124	345	143	310			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,609,965	2,442,154	2,427,441	2,418,856	2,414,553	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.19 0.00	0.21 0.00	1.87 0.00	0.22 0.00	0.22 0.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,709	1,889	16,819	1,979	1,979			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	2,611,674	2,444,043	2,444,260	2,420,835	2,416,532			
	単位あたりコスト ÷		円	5,062	4,704	4,704	4,636	4,628			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	2,611,674	2,444,043	2,444,260	2,420,835	2,416,532				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.5	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	99.6	人口は増加しているが、15年度決算額は少しではあるが減額している。		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度清掃事業区移管に伴う事業開始 清掃一部事務組合分担金 23区総額の推移 12年度:38,736,990千円 13年度:41,598,973千円 14年度:39,000,216千円 15年度:38,760,199千円
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	なし
	今後の予測	平成18年度に可燃ごみの焼却処理を行う清掃工場など中間処理の清掃事業完全移管が予定されている。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:東京二十三区清掃一部事務組合は、区が行う収集・運搬以外の処理・処分やし尿処理を行い収集サービスを完結させている。また、東京二十三区清掃協議会は、清掃車両産上会社への配車調整、一般廃棄物処理業の許可に係る事務、23区推奨ごみ袋の認定に係る事務などを23区の窓口として行うことにより正しいごみの排出、円滑な収集・運搬事業を実現させている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由:義務的経費の支出事業のため。
	協働等は実現しているか	理由または具体的内容:
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:プラスチック、ペットボトルなどの分別収集の拡充や集団回収の推進、生ごみのリサイクルなどを行うことにより、ごみ減量の実現を図る。	
成果向上のための方策 その他(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 東京二十三区清掃一部事務組合及び東京二十三区清掃協議会は受益者でなく、事業主体であるから。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 中間処理施設の運営経費、改修工事経費についてコスト削減を図るよう、東京二十三区清掃一部事務組合に対して働きかける。 23区全体のごみ量を減らすことにより経費が削減できることから、当区においてもごみの削減に向けた取組を行う。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 分別収集の徹底と集団回収の徹底により、ごみの減量を図る。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ごみ減量に向けた住民や事業者の意識改革が必要である。ごみ出しルールの徹底を図るための啓発活動を充実させる。							
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 23区全体のごみ量の増減による経費増減の要素はあるが、現状ではごみ量が大幅に変わっていないため。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		浄化槽維持管理				整理番号	724		枝番号				
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230205		連絡先電話番号	3723		昨年度整理番号	766		
係名 管理係				上位施策名				No					
予算事業名				ごみ収集作業等		コード	68100		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			20	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 浄化槽法								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区内に設置された浄化槽の管理者				(2) 杉並区浄化槽指導要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区内の浄化槽の現況調査等による把握。苦情による浄化槽管理者に対する指導。下水道未普及地域に設置された浄化槽の清掃経費助成。				(3) 杉並区浄化槽清掃経費助成特別措置に関する要綱								
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 浄化槽利用者調査の発送件数				(1) 浄化槽設置数									
(2) 浄化槽清掃経費助成件数				(2)									
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値		目標値に対する15年度の達成率%
							計画	実績	計画		20	年度	
指標	活動指標(1)		件	108	130	110	104	76	60	173.3			
	活動指標(2)		件	1	1	1	1	1	0				
	成果指標(1)		基	73	89	89	76	76	60	126.7			
	成果指標(2)		基										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9	17	67	15	37	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 浄化槽の利用者は減少したほうが成果が上がっている。				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.10 0.00	0.10 0.00	0.21 0.00	0.32 0.00	0.32 0.00					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	899	899	1,889	2,878					2,878
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0					0
	総事業費 + +		千円	908	916	1,956	2,893	2,915					
	単位あたりコスト ÷		円	8,407	7,046	17,782	27,817	38,355					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0					0
差引:一般財源 -		千円	908	916	1,956	2,893	2,915						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	94.5	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	22.4					
			浄化槽の調査の回答率は昨年同様だが、廃止が確認されたもの、新たに浄化槽を使用中であることが確認されたものについて浄化槽管理者台帳の整理が進んだ。										
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			浄化槽で型式が不明なものについて、浄化槽清掃業者の協力を得て把握することができた。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度に都から区に事業が移管された時点で、区内には下水道未普及地域がほとんどなく、現在清掃経費を助成する件数は1件となっている。浄化槽の管理者数は都からの移管時の台帳から13年度の現況調査により削除したが、14年度については台帳にない浄化槽管理者についてもアンケートを行い、台帳に追加したため、増となっている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	浄化槽から出る臭いによる苦情が若干ある。下水道が普及している地域の浄化槽利用者に対し、下水道に直結するように指導してほしい。
	今後の予測	浄化槽管理者に対して下水道への直結を促すように啓発を行ったが、「費用がかかる」「建替え時に廃止する」「(周囲の環境により)工事が難しい状況にある」、等早くに廃止を進めるのが困難な状況にある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由:浄化槽の数が少ないため。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の主な形態 情報提供・情報交換(具体的内容)	理由または具体的内容:浄化槽の型式等、区が調査するのが困難な事項について、浄化槽清掃業者の持っているデータから情報を提供してもらった。
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:浄化槽を下水直結するためには、個人の経費負担が多いため今後啓発を進めても効果が期待できない。
	(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:ほとんどの浄化槽管理者に対する助成はないため。
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容:浄化槽清掃経費助成の制度について見直しを図る。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 浄化槽の清掃経費については対象が1件であるため、助成を継続するかどうかについて検討する。						
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 浄化槽の啓発とともに尿の下水直結のためのPRも実施する必要が見込まれるため、経費は翌年度以降も変わらない。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃協力会				整理番号	726		枝番号					
担当部課名		環境清掃部 杉並清掃事務所		コード	230501		連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	769			
係名				管理係				上位施策名		No				
予算事業名				普及啓発				コード		67900				
事業開始年度				○昭和 ●平成 12年度				根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区西清掃協力会会則 杉並区東清掃協力会会則						
対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区西清掃協力会・杉並区東清掃協力会への事業委託 施設見学会及び清掃懇談会の実施:協力会員対象				(2) 杉並区西清掃協力会婦人部規約 杉並区東清掃協力会女性部規約						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				環境美化、資源再利用の促進、ごみの減量化及び排出ルールの普及などの活動を行う地域団体への側面からの支援。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				すべての区民、事業者が清掃に関する理解を深め、自主的に地域の資源の再利用の促進やごみの適正排出及び減量化に積極的に取り組む。		
活動指標名(式)				(1) 清掃懇談会及び女性部(婦人部)会等参加者数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				(1) 資源化率(ごみ量中の資源の率) % (2)		
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
							計画	実績	計画	17年度				
指標	活動指標(1)		人	985 960		1,000 873		1,000		1,000		87.3		
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		%	17 16		17								
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	708 708		708 657		708		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円	708 708		708 657		708						
	職員数(正規 非常勤)		人	0.92		0.92		0.90				0.92		0.90
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	8,274 8,274		8,095 8,274		8,095					
		非常勤職員分		千円	0 0		0 0		0					
	総事業費 + +		千円	8,982 8,982		8,803 8,931		8,803						
	単位あたりコスト ÷		円	9,119 9,356		8,803 10,230		8,803						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0 0		0 0		0					
差引:一般財源 -		千円	8,982 8,982		8,803 8,931		8,803							
受益者負担比率 ÷		%	0.0 0.0		0.0 0.0		0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%		87.3		活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%		92.8			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			清掃協力会が実施した総会、支部懇談会、施設見学会等で、清掃関連の情報や区の取り組みなどを情報提供し、協力会の活動を側面から支援した。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区のごみ量(単位:トン) 平成13年度 135,497 平成14年度 133,269 平成15年度 132,587 ごみ減量、資源化への区民の理解・協力が高まり、分別排出が促進され、資源化率が向上してきている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	協力会の役員は、町会組織の清掃事業担当として地域で活動していることから、地域住民からの信頼が高い。また、チラシ配布・ごみの排出指導など事務所への協力度も高い。
	今後の予測	ごみゼロ社会づくりをめざした、さらなるごみの減量化、再資源化、再利用の促進のためには、これまで以上に区民・事業者の理解および参加が必要不可欠である。行政と住民のパイプ役を担っている協力会の役割は今後ますます重要になっていく。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:環境衛生の向上のため、行政と区民とが一緒になって取り組むことが必要である。協力会は、行政と地域住民をつなぐパイプ役として環境行政を支えている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(へ)	理由:地域住民からなる自主的な活動であるが、行政と連携し一体となって清掃事業を推進するためにも、側面からの支援が必要である。
	協働等は実現しているか 一部実現している(へ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(へ) 協働等の主な形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	理由または具体的内容:自主的活動支援のための事業であり、清掃事業の普及啓発のための協力会員及び一般区民対象とした、施設見学会及び清掃懇談会事業を委託している。
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:事業内容を変更するなどにより可能。
	(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:清掃協力は、住民の任意団体のため、区が判断すべきではないと考える。
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容:委託内容を変更するなどにより可能。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成16年4月、清掃事業の一体的、効率的運用を目指し、杉並区西清掃事務所、東清掃事務所、事業所を統合した。現在、西、東清掃協会も区の統合にあわせ、平成17年度からの統合について検討を行っている。これを機に、委託事業についても見直しを行い、より協働を推進する。今後は、資源・ごみについての意識啓発を、協力会のさらなる推進事業として委託内容に含め、いわゆる無関心層に対してもごみ出しルール等の周知徹底を図ってきたい。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 施設見学会の実施規模等見直しをする内容等もあるが、今後検討を進めるとし、来年度予算については現状維持の予算見積りとする。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ふれあい指導				整理番号	728		枝番号		
担当部課名		環境清掃部 杉並清掃事務所		コード	230504		連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	771
係名 作業係					上位施策名					No	
予算事業名 ごみ収集作業等					コード	68300		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			20
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				12 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例第5条						
	区民及び区内事業者				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 集積所単位でごみの排出及び事業系有料ごみ処理券貼付 (受益者負担) 指導を計画的に実施する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ・可燃・不燃ごみ、資源の分別排出の徹底、ごみ減量及びリサイクルの推進 ・有料ごみ処理券貼付の徹底						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) ふれあい指導件数				(1) 不燃ごみの資源混入率							
(2)				(2) 資源化率							
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		件	2,296	3,311	3,800	3,386	3,072			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	25	18		22				
	成果指標(2)		%	17	16		17				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,052	6,326	8,049	2,955	13,408	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成16年4月の組織統合に伴い、17年度に収集日が変更となるため、16年度中に表示板等を新たに作成する必要が生じ、その分の事業費が増となった。なお、15年度については、シールで訂正するなど極力支出減を図った。		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(正規 非常勤)		人	12.04	10.45	10.00	10.89	10.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	108,288	93,987	89,940	97,945		89,940	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0	
	総事業費 + +		千円	116,340	100,313	97,989	100,900	103,348			
	単位あたりコスト ÷		円	50,671	30,297	25,787	29,799	33,642			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0	
差引:一般財源 -		千円	116,340	100,313	97,989	100,900	103,348				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	89.1		活動指標(2)の15年度達成率%			15年度予算執行率%	36.7		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	ふれあい指導の担当者のみが行っていた指導を、収集職員が指導を行えるようになった。	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	曜日違いなどのルール違反ごみの調査・指導、集積所の改善、戸別収集化の要請。	
	今後の予測	区民、事業者へのより一層の分別、貼付指導の徹底。廃プラスチック分別収集地域の拡大。	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)		理由: 不適正排出者に対する指導の徹底により、ごみの減量、リサイクルの推進、定期的な環境学習会の開催など、効果は大きい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)		理由: 清掃事業の責務を果たす上で、住民、事業者への指導業務を他に委ねることはできない。
	協働等は実現しているか 当面実現は困難である(理由)		理由または具体的内容: 住民、事業者への指導業務は協働になじまない。
	協働等の相手		
	協働等の主な形態		
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)		理由または具体的内容: 不適正排出集積所の現状をデータ化し、継続的に指導する。(集積所カルテを作成)	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)		理由または具体的内容: 事業の性格から受益者負担の余地はない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)		理由または具体的内容: 清掃協力会や関係団体との協力、協働をすすめる。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 定期的な異動を行うことにより、ふれあい指導班経験者の蓄積を行い、各班での指導業務の充実、向上を図る。			
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法				
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由			

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃事務所維持運営				整理番号	729		枝番号					
担当部課名		環境清掃部 杉並清掃事務所		コード	230501		連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	772			
係名				管理係		上位施策名				No				
予算事業名				西清掃事務所等維持管理		コード	69100		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20			
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		12年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 消防法							
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 建築基準法							
	本所-784.70㎡(S41.6竣工)、方南支所-1875.64㎡(S53.12竣工)、下井草分室-602.96㎡(S58.9竣工)、杉並中継所-6890.31㎡(H8.3竣工)				(3) 廃棄物の処理及び再利用に関する条例									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
各清掃事務所及び分室並びに杉並中継所の庁舎等の維持管理と運営を行う。方法は、職員と業者委託による遂行。				建物や設備等を適正に管理し、安全で機能的な執務環境を確保する。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 建物の延床面積(㎡)				(1) (代)不具合件数										
(2)				(2)										
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%					
				計画	実績		年度							
指標	活動指標(1)	㎡	10,154	10,154	10,154	10,154	10,154							
	活動指標(2)													
	成果指標(1)	件	53	45	5	59	0							
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	118,200	118,295	107,855	97,274	110,488	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)委託費		千円	22,109	21,544	26,819	22,991	28,076						
	職員数(正規 非常勤)		人	4.69 2.00	4.69 2.00	4.69 2.00	4.68 2.00	4.50 2.00						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	42,182	42,182	42,182	42,092	40,473						
		非常勤職員分	千円	5,518	5,518	5,518	5,518	5,518						
	総事業費 + +		千円	165,900	165,995	155,555	144,884	156,479						
	単位あたりコスト ÷		円	16,339	16,348	15,320	14,269	15,411						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0			
差引:一般財源 -		千円	165,900	165,995	155,555	144,884	156,479							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0		活動指標(2)の15年度達成率%			15年度予算執行率%	90.2					
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		施設・設備の保守点検と修繕費は、対前年度比が109.3%、光熱水費も、平成14年6月から開始された夜間収集に伴い対前年度比が100.4%と増額した。とりわけ、配水管などの修理が増加している。												
		昨年度は一年間を通して夜間収集を実施した結果、省エネ・節水対応の物品購入や全職員のISOへの意識の徹底に努めたのにもかかわらず増額した。												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度に清掃事業が東京都から区に移管された。平成14年度6月に夜間・早朝収集作業が開始されたことに伴い従来、職員の控室であった一部の部屋を和室に改装し従事職員の対応にあっている。また、今年度から3所あった事務所の組織統合を図った。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	杉並中継所の役割が正当に評価されている一方で、井草森公園周辺の問題に関連して、即時に中継所の操業停止を求める意見が一部にある。
	今後の予測	組織統合されたことにより現在8箇所に分散して従事している執行体制を、より機動的で簡素・効率的に運営していく事が求められる。また、それぞれの建物の築年数が既に38年、25年と経過しており、今後一層、修繕箇所が増加する事が予測される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 清掃事業の運営には欠かせない。また、中継所も計画どおり支障なく不燃ごみを受入れており、建築目的を十分に果たしている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 建物の機械設備・電気設備・消防設備の保守、樹木の管理、中継所のねずみの駆除、清掃業務の一部などを委託している。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 実施計画事業である。また、平成14年度から大規模修繕は営繕課の予算で行っている。	
成果向上のための方策 その他(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 施設の使用目的がごみ収集作業等であり、その建物の維持管理のため、受益者負担になじまない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 各所単位で契約している委託契約を一つにまとめることにより、組織統合による規模の大きさを生かしたより安価な契約が可能となり経費の削減が図れる。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 (1) 全職員がISO14001を着実に実行することで、電気・水道・ガスなどの経費を削減していく。(2) 現在、各所単位で契約している委託契約を、集合契約とすることにより、より安価な契約が可能となる。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 清掃の収集作業は、汗やごみから出た飛沫などで衣類や体の汚れが日常的であり、職員の健康を維持していく上で光熱水費の削減にはある程度の限界がある。さらに、老朽化した建物への設備投資にも限界があるため、職員へのISO14001に対する十分な理解と協力を今以上に徹底する。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 限られた財源の中で、内部努力をしながら現状維持を図る。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃事業所の施設、建物の維持管理				整理番号	730		枝番号						
担当部課名		環境清掃部 杉並清掃事務所		コード	230501		連絡先電話番号	3323-4571		昨年度整理番号	773				
係名				管理係				上位施策名			No				
予算事業名				清掃事業所維持管理				コード	69500		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			20	
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		12年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 建築基準法								
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 消防法								
	清掃事業所、高井戸分室、高井戸分室車庫				(3) 電気事業法										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)										
各施設の建物、設備の維持管理(点検保守委託、修理)				施設を良好な状態に保ちながら、光熱水費や委託料の経費を抑制していく。											
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
(1) 施設の延床面積				(1)											
(2)				(2)											
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%						
				計画	実績		年度								
指標	活動指標(1)	m ²	4,699.78	4,699.78	4,699.78	4,699.78	4,699.78								
	活動指標(2)														
	成果指標(1)														
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	58,366	61,863	62,390	49,084	53,823	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)						
	(内)委託費		千円	30,560	36,367	34,881	25,297	28,868							
	職員数(正規 非常勤)		人	3.05 2.00	3.57 2.00	4.00 2.00	4.10 2.00	2.00							
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	27,432	32,109	35,976	36,875			17,988				
		非常勤職員分		千円	5,518	5,518	5,518	5,518			0				
	総事業費 + +		千円	91,316	99,490	103,884	91,477	71,811							
	単位あたりコスト ÷		円	19,430	21,169	22,104	19,464	15,280							
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0				
差引:一般財源 -		千円	91,316	99,490	103,884	91,477	71,811								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0		活動指標(2)の15年度達成率%			15年度予算執行率%	78.7						
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成16年度に組織統合を実施し、管理部門の統合により経費の節減を行っている。													

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	竣工から4年を経過しており、設備機器の部品交換が発生している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	現在までのところ、事業所内及び周辺における騒音、振動、臭気、車両通行等に関する苦情はない。
	今後の予測	建物、設備の経年劣化に伴い、修繕費の増加が見込まれる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由： 清掃事業の運営に欠かすことができない。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	理由：
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容： 現在は、設備、施設の維持管理について、電気設備、機械設備、清掃など、いくつかの分野ごとに保守委託を行っている。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容： 組織統合の結果、類似した契約が複数存在する為、委託契約の範囲及び内容を見直して契約を一つにまとめるなど可能な限り事務を簡素化するとともに、組織統合による規模の大きさを生かした委託契約により経費の削減を図る。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容： 区の施設、建物の維持管理のため、受益者負担になじまない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容： 旧組織の類似した契約を一つにまとめ、組織統合による規模の大きさを生かした契約により経費の削減を図る。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト： <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 組織が統合された反面、多様な施設や大規模設備の維持管理に対応できる管理体制が求められている。しかも、限られた事務職員で維持管理を担当しなければならないため、専門技術的な委託契約の内容を見直して簡素で分かりやすい内容に改め、適切な維持管理ができるようにする。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 施設、建物の規模が大きい為、事務職だけの維持管理業務には限界がある。このため、専門職の応援を得ながら、日常の維持管理を行っていく。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 組織統合の成果を現すために、平成17年度は、事務分担を見直し、効率の向上を図る。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃車両(ごみ収集車)の運行及び維持管理				整理番号	731		枝番号				
担当部課名		環境清掃部 杉並清掃事務所		コード	230510		連絡先電話番号	3317-6771		昨年度整理番号	774		
係名		車庫係		上位施策名					No				
予算事業名		清掃事業所維持管理		コード	69500		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			20			
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		12年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例							
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 道路運送車両法							
	区所有清掃車(ごみ収集車) 28台					(3) 自動車損害賠償法、自動車重量税法							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			区所有清掃車(ごみ収集車)の運行 区所有清掃車の点検、車検、修理 清掃車の購入 自動車損害賠償責任保険への加入 自動車重量税の支払い		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 延べ配車台数					(1) 配車率 配車台数 ÷ 計画台数								
(2) 低公害車の導入台数					(2) 低公害車率 低公害車台数 ÷ 清掃車保有台数								
指標	区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
						計画	実績		17年度				
	活動指標(1)		台	9,040	8,045	7,440	7,373	6,510	6,510	113.3			
	活動指標(2)		台	7	7	4	4	4	6	66.7			
	成果指標(1)		%	100	99	100	99	100	100	99.1			
成果指標(2)		%	73	100	100	100	100	100	100.0				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	90,111	73,352	85,422	72,528	36,309	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円	115	65	65	65	65					
	職員数(正規 非常勤)		人	56.52 0.00	48.50 0.00	52.00 1.00	48.39 2.00	43.00 3.00					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	508,341	436,209	467,688	435,220	386,742					
		非常勤職員分	千円	0	0	2,759	5,518	8,277					
	総事業費 + +		千円	598,452	509,561	555,869	513,266	431,328					
	単位あたりコスト ÷		円	66,200	63,339	74,714	69,614	66,256					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円	5,792	4,527	1,607	1,995				806	
		特定財源計 +		千円	5,792	4,527	1,607	1,995				806	
差引:一般財源 -		千円	592,660	505,034	554,262	511,271	430,522						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	99.1	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	84.9	清掃車に関しては、再生部品や再生タイヤの積極的な活用により、経費節減に努めた。また、整備点検の計画的、かつ、入念な実施により、安全な車両運行の向上に努めた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		15年度までの事務事業評価では、清掃車の運行と施設維持運営が一緒になっていたが、16年度の評価から車両と施設とを別の評価対象としたため、事業費が減額となっている。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	清掃事業の移管に伴い、平成12年度から開始された事業である。開設当初、清掃事業所の清掃車の保有台数は33台であった。ごみ減量にともない平成16年度現在、清掃車の保有台数は28台となっている。また、平成16年度から車両管理の集中化が図られ、清掃車両の購入に関する事務については、経理課の所管となった。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	ごみの収集時間について、要望がある。
	今後の予測	ごみ量の減少が続いていることから、清掃車両保有台数の削減が見込まれる。また、清掃車両の買い替えに際しては、環境への負荷に配慮するとともに、災害時における使用についても考慮し、適切な車両配備を図っていく必要がある。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 作業計画どおりの配車を行うことにより、収集作業を支障なく完了させている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(^)	理由: 清掃事業の区移管以前から、企業と行政の協働による清掃車両の運行がなされており、移管後も、ともに主体となり清掃車両の運行を実施している。
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 清掃車両運行の委託割合については清掃事業の移管に際し、一定の比率が定められている。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 作業計画に基づく配車を行うことを維持している。また、清掃車の点検整備については、法令に基づき義務付けられた12月、6月の定期点検のほか車両の正確、安全な運行に万全を期すため更に年2回の点検整備を行い、車両故障等による修理費等の削減に努めている。また、平成16年度から清掃事務所の軽小型車両も整備・修理の対象とすることにより、車両整備部門の効率的な運用及び清掃作業部門の経費削減を図っている。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 清掃車の点検・修理等に関しては、受益者負担の余地はない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 清掃車の更新期限の延長、再生タイヤ、再生部品の使用割合増、整備の充実等によりコスト削減が可能である。また、現行の車庫2箇所態勢の見直しによる事業運営の効率化、コスト削減について検討する余地がある。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 清掃車更新期限の延長、再生品の利用コスト抑制の可能なものから実施している。清掃車両の点検整備のより一層の充実により車両運行に要する維持管理経費の抑制を図っていく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 清掃車の耐用年数は、原則5年としているが、これを1年延長することによりコストの削減を図っている。反面、使用期間延長は清掃車の故障の増加につながる恐れがある。点検整備のより一層の充実等によりこの阻害要因の解消を図っていく。
17年度方針	(1) 17年度予算見積りの方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 車両事故は、区及び区民に対し人的、財産的損害を及ぼすだけでなく、区民からの信頼をも損なう。これらの点を踏まえ、清掃車両の運行に携わる者一人ひとりが、安全に対する意識を高め、清掃車両の安全運転と適切な維持管理を通じて、安全、安心のまちづくり推進に貢献する。

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		不燃ごみ中継作業				整理番号	732		枝番号					
担当部課名		環境清掃部 杉並清掃事務所		コード	230501		連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	775			
係名					中継処理担当			上位施策名		No				
予算事業名					ごみ収集作業等		コード	68300		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20		
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		12年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例							
	杉並区(全量)及び中野区、練馬区(一部)の不燃ごみ				(3) 清掃事業移管協定									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
杉並、中野、練馬各區のごみ収集車が収集した不燃ごみを当中継所で大型コンテナに積替え、大型コンテナ車で不燃ごみ処理センター(中防)へ輸送する。中継処理により中防への輸送車両台数を約7分の1に減らしている。				不燃ごみの収集、中継作業の効率化により、経費の削減を図る。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 杉並・中野・練馬区の不燃ごみ中継量				(1) (杉並・中野・練馬区の不燃ごみ中継量 ÷ 杉並・中野・練馬区の不燃ごみ収集量) × 100										
(2) (コンテナ車出庫台数 ÷ ごみ収集車搬入台数) × 100				(2)										
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%					
				計画	実績		年度							
指標	活動指標(1)	t	49,801	53,491	57,784	55,301	57,939							
	活動指標(2)	%	14	14	14	15	14							
	成果指標(1)	%	74	81	80	73	73							
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	673,164	662,794	716,120	684,466	464,266	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)委託費		千円	42,224	42,100	47,690	42,993	44,688						
	職員数(正規 非常勤)		人	13.34 6.00	13.10 6.00	12.00 6.00	13.20 6.00	12.00 6.00						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	119,980	117,821	107,928	118,721	107,928						
		非常勤職員分	千円	16,554	16,554	16,554	16,554	16,554						
	総事業費 + +		千円	809,698	797,169	840,602	819,741	588,748						
	単位あたりコスト ÷		円	16,259	14,903	14,547	14,823	10,162						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0			
差引:一般財源 -		千円	809,698	797,169	840,602	819,741	588,748							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	95.7		活動指標(2)の15年度達成率%	107.1		15年度予算執行率%	95.6					
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)														

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	収集車の積載量の見直し、びん・缶の資源ごみ収集開始により増減はあるものの、成果指標は向上傾向にある。杉並中継所問題に関しては、14年6月に国の公害等調整委員会の裁定があり、平成8年4月から8月頃に生じた健康不調は中継所の操業に伴って発生した化学物質によるものとされたが、その他の症状とうについては棄却された。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	中継所の役割、事業成果が正当に評価される一方で、井草森公園周辺環境問題に関連して、中継所の即時操業停止を求める意見が一部にある。
	今後の予測	杉並中継所の安全で円滑な運営を行うとともに、周辺環境への影響を少なくするための努力を行っていく。 ごみの減量対策を積極的に進め、24年度を目標に杉並中継所を不要なものにしていく。 国は、容器包装リサイクル法の対象以外の廃プラスチックについて熱処理することを検討している。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由：清掃事業は、区民の日常生活に密着した行政サービスであり、欠かすことのできない事業であるため。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由：廃棄物の処理及び清掃に関する法律に、国民と事業者の責務、国及び地方公共団体の責務が定められており、区民を対象とした家庭廃棄物の収集・運搬・処分は区の責務である。
	協働等は実現しているか 当面実現は困難である(理由)	理由または具体的内容：廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、区民を対象とした家庭廃棄物の収集・運搬・処分は区の責務とされている。
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	理由または具体的内容：効率的な収集・中継作業体制の確立を図る。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容：	
(5) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容：効率的な収集・中継作業体制の確立を図る。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等： <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 中継所搬入量の変動抑制、コンテナ積載量の変動抑制などにより、効率的な中継作業が実施されることで、成果向上を図る。 また、受益者負担については、中継所搬入量による従量費用負担制度の確立などにより、財調配分の適正な措置を行ってもらうことで、見直しの余地がある。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 可燃ごみは減少傾向にあるが、不燃ごみは微増している。平成15年3月に改定した「一般廃棄物処理基本計画」の個別計画の実現に向けた取組みを、早期に実施する必要がある。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		し尿・粗大ごみ中継作業				整理番号	735	枝番号		
担当部課名		環境清掃部 杉並清掃事務所		コード	230507	連絡先電話番号	3323-4571	昨年度整理番号	778	
係名		方南作業係			上位施策名			No		
予算事業名		ごみ収集作業等		コード	68300	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			20	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区と周辺9区から収集したし尿及び杉並区と渋谷区、中野区から収集した粗大ごみ				(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) し尿: 小型車で収集したし尿を一時貯留槽に受け入れ、大型車で大井作業所へ搬出する中継所の運営管理を行う。 粗大: 小型ダンプ車で収集した粗大ごみを圧縮機を備えた中型プレス車に積替え、粗大ごみ破砕処理センターへ搬出する中継所の運営管理を行う。				(3)					
	活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
(1) 排出したし尿量				中継所を適切に管理運営することにより、効率的な収集・搬出を行う。 中・大型車に積替えることで運搬車両台数を減らし、環境への負荷を最小限にする。						
(2) 排出した粗大ごみ量				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
				(1) し尿運搬台数						
				(2) 粗大ごみ運搬車両台数						
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
				計画	実績		19	年度		
指標	活動指標(1)	kl	3,458	2,437	2,100	1,980	2,000	1,800	110.0	
	活動指標(2)	t	3,582	3,543	4,300	3,845	3,900	3,350	114.8	
	成果指標(1)	台	706	500	490	461	460	420	109.8	
	成果指標(2)	台	2,627	2,237	2,800	2,665	2,700	2,200	121.1	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	161,386	152,985	171,359	157,482	167,073	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 15年度職員数実績値は、事務分担割合の見直しにより増加したものの。	
	(内)委託費		千円	24,463	24,684	25,435	25,037	27,299		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.07	0.61	0.10	3.46	3.05		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	630	5,486	899	31,119	27,432		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	162,016	158,471	172,258	188,601	194,505		
	単位あたりコスト ÷		円	46,853	65,027	82,028	95,253	97,253		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引: 一般財源 -		千円	162,016	158,471	172,258	188,601	194,505			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	94.3	活動指標(2)の15年度達成率%	89.4	15年度予算執行率%	91.9			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		中継所の土地賃貸借契約の見直しを図り、平成16年度予算では約300万円のコスト削減ができた。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区のし尿収集対象戸数 平成11年度118戸 平成15年度77戸 平成15年10月から家庭用パソコンのメーカー等による回収・リサイクルが開始された。 平成16年4月から家電リサイクル法に家庭用電気冷蔵庫が追加された。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	パソコンのリサイクル化、家電リサイクル法の拡充により家庭用冷蔵庫がリサイクルの対象とされるなど、粗大ごみが減少する要因があるが、他区からの粗大ごみ受け入れ回数が増えているため、中継所が取り扱う粗大ごみの量は増加傾向にある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: し尿、粗大ごみとも小型車で収集し、より大型の車で処理・処分場へ輸送することにより、迅速かつ効率的な収集と輸送コストの低減を実現し収集サービスの向上に貢献している。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 粗大ごみ中継業務委託 粗大ごみ搬入車両の受付業務 粗大ごみ積替え業務 日報・月報の作成、報告業務 その他関連業務
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: し尿:貯留槽や搬出車両台数の一層の適正管理に努める。 粗大:家具や家電製品のリサイクルを進めることにより、粗大ごみの量を減らす。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: し尿については23区で統一して無料収集と決められている。しかし、粗大については、収集コストに見合う手数料に見直すことが可能である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由: し尿:貯留槽や搬出車両台数の一層の適正管理に努める。 粗大:中継所の土地賃貸借契約の見直しを図り、平成16年度予算では約300万円のコスト削減ができた。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 粗大ごみ受付業務の簡素化、効率化を図る。 中型プレス車の積載量の適正管理を行う。 粗大ごみ排出を抑制するため、資源や家具、家電製品のリサイクル、リユースを推進し、循環型社会の形成を推進する。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由 粗大ごみ量の増に伴う処理経費の増は、経費削減努力により対応する。		